

会議等速報

令和2年6月19日

件名	令和2年度 第1回鹿児島市食育推進委員会	作成課	保健所 保健政策課
日時	令和2年6月12日(金)14時00分～15時30分		
場所	市役所 東別館9階特別中会議室		
出席者	公募委員2名、学識経験者1名、消費者団体等の代表者2名、 教育福祉関係団体の代表者3名、保健医療関係団体の代表者3名、 食品関係者2名 計13名(欠席4名)		
市出席者	事務局：健康づくり係長、係員		
会次第	1 開会 2 新委員紹介 3 委員長・副委員長の選出 4 議事 議題 (1) 第三次かごしま市食育推進計画 令和元年度実施状況・令和2年度実施計画 (2) 食育に関する意識調査について (3) 第6回かごしま食育フェスタ実施計画 5 その他 6 閉会		
主な意見等	議題 (2) 食育に関する意識調査について (委員) 未就学児、小学生向けの調査票では、保護者向けの設問はいらぬのではないか。 (事務局) 再度検討させていただきたい。 (⇒削除することにしました) (委員) 前回調査と設問が変更(設問数が減っている)になっているのはなぜか。 (事務局) 前回調査時にも設問数が多いという意見が出たことや、回収率を上げるために今回は設問数を減らし、簡素化した。 (委員) 新型コロナウイルスと食育との関連を問うような設問を作っても良いのではないかと。今回のコロナで、食生活も大きく変わっている(免疫を高める食事など)と思うので、啓発の意味でも入れてよいのではないかと。 (事務局) 本市は食育推進計画と別に、健康増進計画という計画もあり、差別化を図っているところである。健康増進計画も来年度意識調査をする予定であるので、「健康」という面に関してはそちらの方で取り上げていきたい。 (委員) 「地域や所属コミュニティで食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いませんか。」というような設問があるが、参加の有無の前に、コミュニティの有無を聞いた方が良いのではないかと。		

(事務局) 検討させていただきたい。

(⇒参加希望の有無を問う設問のため、「食事会の機会があれば」の文章に下線をつけることにします。)

(委員) 未就学児・小学生の調査票は、保護者の立場で聞いているのか、子どもの立場で聞いているのかわからないところがある。子どもの立場ということで良いのか。

(事務局) その通りである。

(委員) 「郷土料理を料理教室で習ってみたいですか」というような設問が今回は削除されているが、なぜ削除しているのか。

(事務局) 郷土料理を作ることを目指すより、まずは食べる、知ってもらうということを重視したため、削除した。もちろん、作るということは大切だが、料理をする人が減っている中で、まずは、知るということを優先した次第である。

(委員) 「食事の作法に気をつけていますか」という設問があるが、「作法」という意味を加えたほうがより回答率が上がるのではないか。また、「食生活を送る上で参考にしている指針」を問う設問が削除されている。食事バランスガイド等は大切だと思うので、残した方が良いのではないか。

(委員) 設問で、「3つまで選んでください」というものが多いが、選択肢にあるものは全て必要なものばかりである。全て選んでくださいではダメなのか。

(事務局) 作法の意味は加えたいと思う。また、その他の設問に関しては、経年での比較等もあるので、検討させていただきたい。

(⇒回収率を上げるため、今回は設問を簡素化したいので、指針については削除することにします。食事バランスガイド等の指針については、食育情報紙等、別の方法で広報をしていきます。

また、設問を変更すると経年比較が難しくなるため、「3つまで」という表現を「最も当てはまるものを3つまで」という表現に変更します。)

(委員) 回答率はどの程度を見込んでいるのか。

(事務局) 過去の回収率の平均値、51%程度を見込んでいる。

(委員) アンケートは最初の方は考えて答えるが、設問数が多いと、適当に答えてしまう人が増えると思う。ただ、設問を減らし過ぎると聞きたいことが聞けないので、難しいと思うが丁度良い折り合いをつけてほしい。

(3) 第6回かごしま食育フェスタ実施計画

(委員) 今年はコロナの関係もあるが、11月の開催は確定をしているのか。また、フェスタに限らず、食育に関する今年度の実施計画でも、やはり「食」なので調理実習等が多いがどのように進めていくのか。何か、工夫等があるか。

(委員) 大学の調理実習では、作ったものをその場で食べず持ち帰ったり、食べる場合は向かい合わせにならないようにして食べるなどの工夫をしている。

(事務局) 食育フェスタについては国が出しているイベントの開催方法のマニュアルに合わせて進める予定である。また、今回は、各ブースに透明のシートを張るなど予防を行う予定である。

(委員) 鹿児島市の食育を進めるうえで、認知度に欠けている気がする。食育の日を決めるなど何かもっと良い方法がないのだろうか。また、フェスタ開催の有無はいつ決定するのか。

(事務局) 今の時点では開催する方向で動いている。多くの団体様の出展があるので、直前で中止決定は避けたいと考えているので、もし中止という場合は9月頃までを目処にお伝えしたい。

(委員) イベントをするにあたって、やはり多くの人に来ていただくということが大切なのかなと思う。しかし、この状況(コロナの)であるので、何かしらのルール作りをしていかないといけないのではないかなと思う。

その他

(委員) 意識調査の結果は、教育委員会や栄養教諭など情報共有はしているのか。

(事務局) 前回調査時は、市の関係課に冊子をお送りしている。冊子に限りがあるので、栄養教諭の先生方全員にはお送りできていない。ホームページには掲載しているので、その周知もしていきたい。

(委員) 保育園では、保護者への試食会ができなかったり行事ができなかったりと、コロナの影響が出ている。ただ、このような中でも少しでも楽しく食育ができるように、工夫をして行っているところである。

(委員) 文科省からも食事中はできるだけ話をしないようにという案内が来ており、園でできる食育が減っている。このような中でも色々な工夫をして食育を行っているが、未だに保護者から、自分の子どもの好きな食べ物が分からないなどという話を聞く。市からも園でも配布できるような食育の配布物をもっといただけると有り難い。

(委員) 今回のコロナの影響で給食が中止になった際、昼食持参を呼びかける中で、おにぎりかパン、という限定の呼びかけしかできなかったという状況がある。バランスの良い食事を与える能力や技術の有無だけでなく、貧困の問題も背景にあると思う。食育を考えたときに、この貧困ということも重要な問題になるので、ぜひ、本委員会が発端となって普及啓発をしていけると、子どものためにもなるのではないかなと思う。

(委員) 鹿児島には県内産の食材が豊富である。この地産地消を活用していくとよいのではないだろうか。

(委員) 食育フェスタに関しては、出展にあたり多くの団体が準備をすることと思うので、早めに(開催の有無の)決断をしてほしい。

(委員) 昨年度の食育フェスタは非常に盛り上がっていたように感じた。その一因として、子どもの絵の展示や舞台発表など、子どもを取り込んだことがあると思う。食育の関心を持ってもらうためにも、ぜひ、今年度も盛り上げていただきたい。また、今回のコロナで家にいる時間が増え、料理をする人も増えたと思う。食に関して関心を持つ機会が増え、この面に関してはよかった

のではないかと感じる。

(委員) 食育というと、食べる側の人より、食べるもの(食材や料理など)に視点が置かれやすいように感じる。もっと食べる側の人々の健康などにも視点を置いて良いのかなと思った。

(委員) 鹿児島市の食育増進 Day などを決めて、その週間は市を挙げて食育を進めるなど、何か広報になるようなことをもう少しするとより、食育が広まるのではないだろうか。

(委員) 先ほど貧困の話があったが、周りでも経済的に食べられなくて体調が悪いというような人がいる。食育というものは、ある程度裕福な人が対象になるのではないかなと思う。最低限のものが食べられないと食育を進めるのは難しいのではないだろうか。この貧困の問題にも取り組む必要があると感じた。